



ハトダヨ
2017年
11月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館
指定管理者 TRC 函館グループ
TEL 35-5500 FAX 35-5525

市中央図書館だより

第19号 平成29年11月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成29年10月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1	素敵な日本人	東野 圭吾／著	11	我がパラダイス	林 真理子／著
2	蜜蜂と遠雷	恩田 陸／著	12	変幻	今野 敏／著
3	この世の春 上	宮部 みゆき／著	13	AX	伊坂 幸太郎／著
4	この世の春 下	宮部 みゆき／著	14	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和／著
5	月の満ち欠け	佐藤 正午／著	15	みかづき	森 絵都／著
6	アキラとあきら	池井戸 潤／著	16	夜の谷を行く	桐野 夏生／著
7	マスカレード・ナイト	東野 圭吾／著	17	君の臍臓をたべたい	住野 よる／著
8	この嘘がばれないうちに	川口 俊和／著	18	かがみの孤城	辻村 深月／著
9	BUTTER	柚木 麻子／著	19	宮辻薬東宮	宮部 みゆき／著ほか
10	劇場	又吉 直樹／著	20	とるとだす	畠中 恵／著

イベント告知

「秋・冬のおすすめDVD～図書館で視聴しませんか」

期 間：平成29年10月28日（土）～平成30年2月22日（木）

場 所：函館市中央図書館 1階 回廊ガラス展示コーナー

当館所蔵のDVDで、スタッフおすすめの1本をご紹介します。

ご紹介する作品は全て、館内のAVブースにてご視聴いただけます。この機会に是非、ご利用ください。

※貸出はできません。



開架展示紹介

「江戸の暮らし」期間：10月28日（土）～11月23日（木）

現代から約400年さかのぼった江戸の時代、人々はどのような生活をおくっていたのでしょうか。当時の娯楽や食生活など、身近でいて意外と知られていない江戸の文化や暮らしに関する本を集めてみました。



ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル:「ヒキガエル君、

カウンセリングを受けたまえ。」

著者: ロバート・デ・ボード 出版社: 阪急コミュニケーションズ (2014年9月)
まさかあのヒキガエルが“うつ”になるなんて! あのわがままで大金持ちのあの彼が?
※詳しくは『たのしい川べ』(ケネス・グレーアム)をご覧ください。

とても信じられませんが、ヒキガエル屋敷を訪ねたモグラが目にしたのは、おしゃれなはずの彼が汚れた服を着て落ち込む姿でした。

モグラたちはあの手この手を使いますが、すべて効果なし。最後の手段としてアオサギのカウンセリングを受けさせることにします。この面談は全部で10回。ヒキガエルは驚きの変身を遂げます。

カウンセリングの入門書としてイギリスでベストセラーになった本書。

ヒキガエルの劇的な成長をあなたもその目で目撃してください。

棚: A4~A6

請求記号: 146.8 柿

タイトル:「やねうら」

文: ハーウィン・オラム 絵・訳: きたむら さとし 出版社: 評論社 (1996年11月)

おもちゃにも飽きて、退屈で仕方がなくなった男の子は
無いはずの屋根裏に行けるはしごに登って、不思議な世界を旅します。
日常を離れて冒険できたら…。

自分しか知らない秘密の場所があったなら…。

子供のころに一度は思い描いたことはないでしょうか?

そんな願望を形にしてくれる素敵な絵本です。

棚: 児3-6

請求記号: E 杓

タイトル:「東京新大橋雨中図」

著者: 杉本 章子 出版社: 新人物往来社 (1988年11月)

若くして武家の家督を継いだ小林清親は、維新によりその身分を失い徳川十六代家達の移った駿府へ下ります。生きる道を失い賊徒として辛酸を舐める日々。生まれ育った江戸が忘れられず故郷へ戻りますが、そこは急速に変遷してゆく新都「東京」でした。「最後の木版浮世絵師」と呼ばれた実在の画家・小林清親の物語。『おいおいに毀れてゆく開化の御代』を白い目で眺めていた自分の中の御家人が影を潜め、変わりゆく東京の景色に感興を覚える清親に画家としての道が開かれてゆく様は清々しく、彼を取り巻く周囲の人々の強く逞しく哀しい人生と共に心に沁みます。「光線画」と称された清親の絵画は詩情溢れる風情があり、表題作を含めた4章のタイトルは全て彼の代表作品名です。浮世絵本と共に読み進むのも一興。大政奉還から150周年の節目に、江戸から明治を生き延びた市井の人々に思いを馳せるのにおすすめの一冊です。

棚: A25~30

請求記号: F 杓

館長随想 (十九)



最近、文藝春秋社の社長が、図書館には文庫を貸さないうで欲しいと、全国図書館大会で発言したことがニュースとなりました。新潮社の社長の同様な発言が道新の記事になった時、私は五月号のハトダヨで、考えを書きました。出版不況と言われて久しい中、出版社の経営者は本当に困っているのだと思います。それで、このような発言が繰り返されているのでしょうか。

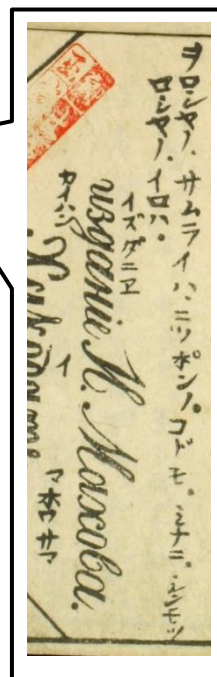
本、雑誌の売り上げはこの二十年で四割以上下がっていますから、出版社は大きな打撃を受けていることがわかります。出版不況の原因として言われているのは、インターネットなどで情報を取ることが増えて、本や紙媒体からの活字離れがおきていることが先ずあげられます。ブックオフなどの新古書店が増えたのも一因と言われています。

図書館も原因でしょうか。しかし、出版売り上げで落ち込みの激しい雑誌、マンガなどは図書館が大きな要因になりにくい分野です。そこまで数字が落ち込んでいない学術書や専門書は逆に図書館がかなり揃えている分野です。小説などの文芸書も落ち込んでいますが、発行点数はそれほど減っていないので、一冊あたりの発行部数が減っています。初版の多くを図書館が買っていますから、図書館が文芸書の出版を支えている状況にあります。図書館が新刊書を買わなければ、発行できない本の企画がかなりの数になるでしょう。多くの文芸書を図書館が揃え、その小説を読む読者がいるのは、ベストセラーを生む原動力になっていると私は思います。

しかしながら、図書館が単純に売れそうな本ばかりに目を向けた選書をしていると、出版文化を守ることができなくなります。図書館としてあるべき本を選ぶ目が求められていると自戒しています。

デジタル資料館

紹介



ろしやのいろは 1810626273

1861年、函館ロシア領事館の司祭イワン・マホフが日本の子どものために作った、日本で最初のロシア語入門書です。序文には「日本児童の為に魯西亜のさむらいはこれを贈る」とあります。

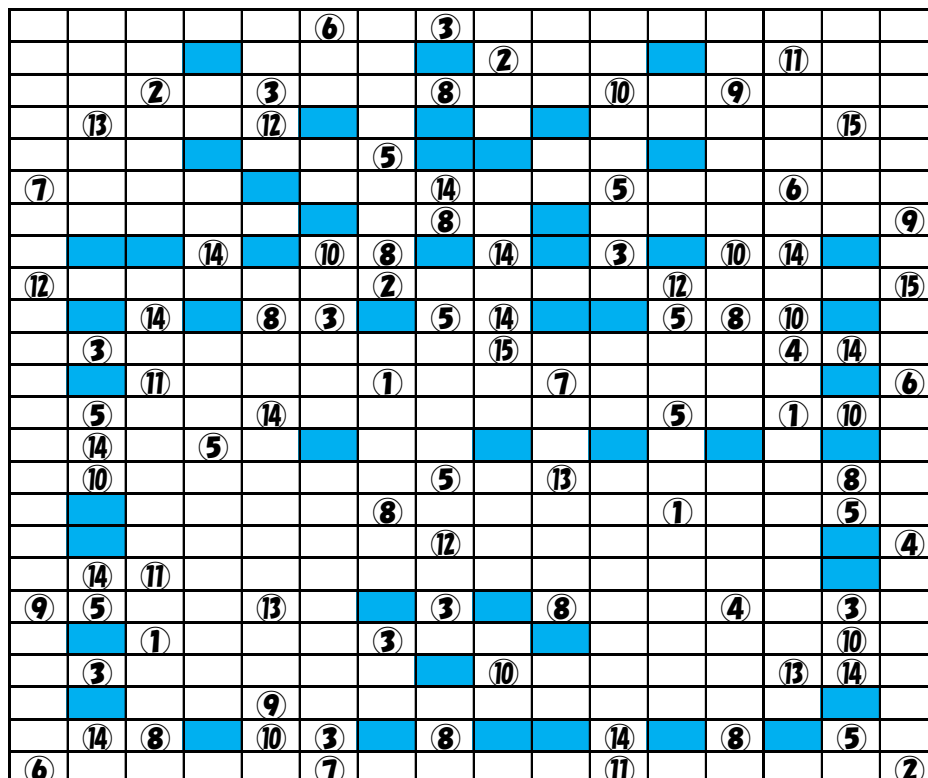
図書館クイズに挑戦!

全問正解すると、何かが現れる!
正解だと思う番号をぬりつぶしてみよう!



- Q1 中央図書館のマスコットの名前は? ①ナナチャン ②サンチャン ③ヨムチャン
- Q2 函館市内の図書館の数は? ④3館 ⑤7館 ⑥10館
- Q3 本は何冊まで借りられる? ⑦5冊 ⑧10冊 ⑨無制限
- Q4 本は何日間借りられる? ⑩14日間 ⑪7日間 ⑫3日間
- Q5 中央図書館はどこにある? ⑬青柳町 ⑭五稜郭町 ⑮杉並町

すうじはあちこちにあるよ!
ヒントは、りょうしゃカード!



答え Q1. ③ Q2. ⑤ Q3. ⑧ Q4. ⑩ Q5. ⑭